



自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

4/22(火)

テーマ: 『昔話から学ぶ経営者の心得』

出席24社28名

(美浜21、他会6、非会員1)

講師: 鎌ヶ谷市倫理法人会 会長 三森 繁生 氏



Hanjyo Mitsumori

いきなり、三森先生の授業開始!

1時間目: 国語 次の漢字の読み方を答えよ。

①



②



2時間目: 数学

6 + 9 = 2 7 + 4 = 0 では6 + 1は?

3時間目: 富士山の雪が溶けると何になる?

まず解説。答えはそれぞれ、以下の通り。

①味覚の秋 ②箱入り娘 6 + 1 = 1 (〇の数)
富士山の雪が解けると「春」になる。

会場を見渡すと、寝ている人は誰もいない。「この1時間の間は、私は先生。皆に聞いてほしい。だから、何とか聞いてもらえるように、仕掛け作りを努力する。それが先生である私の努め。いきなり商品売り込むのは、ダメな営業です。まず相手の心を開かなければ。3回4回行って買ってもらえないのは、お客のせいじゃない。自分の努力が足りないんです」と三森氏は言う。

また、3時間目の答えは、「春」でなくとも良い。ポイントは2点。まず1つ目は、雪が溶けたら水になると誰もが知っているのに、大人は子供のように素直に「ハイ、水です!」とは答えられないことだ。2つ目は、人と同じ考えをすれば、人と同じ結果になるということ。「不景気だから」とぼやけば、事業は

景気と共に落ち込む。ところが不景気でも業績の良い企業の経営者たちは、「水になる」なんて考えていない。夢と希望を持って、「春になる」のを信じているのだ。

自分の名前通り、生きていますか?

自分の名前は、両親が付けたものだ。その両親にも、名付けてくれた両親がいる。自分の子に名前を付ける時、適当に付けたりするだろうか? 否、人に相談し、色々なものを調べ、本当に悩んで決めるはずだ。「皆さんの名前もそうになっているんです。自分の名前には、必ず両親の願いや想いが込められている。これを忘れないでください」と三森氏は言う。

運命は変えられるが、名前は変えられない。これを宿命という。「自分の名前通り、本当に生きていますか? これを考えると、自分の人生が変わってきます。自分の名前を大切にすることは、お墓参りをすることと、本質は同じなのです」。これは社名でも同じだ。社員の何割が、社名の由来や歴史を説明できるだろうか。愛社精神を育みなければ、どんなに単純な社名であっても、きちんと説明することが大切だ。

広沢虎蔵『清水の次郎長伝』より 能力×気力=成果

広沢虎蔵の『清水の次郎長伝』では、ドジでダメな灰神楽の三太郎が失敗し、ナンバー2と3の子分が彼を首にしようとする場面がある。東海一の大親分と呼ばれた清水の次郎長は、「馬鹿野郎」と2人を叱って、こう言った。

「俺が大親分なのは、俺が偉いからではない。お前たちがいるからだ。同じようにお前たちがナンバー2・3なのは、その下の者たちがいるからだ。同じように…」と最後に灰神楽の三太郎の名前を挙げ、「清水一家のためなら命をも落とすという灰神楽の三太郎に、気力で勝る者はいるか!」と問うと、誰も答えられる者はいなかった。

成果は、能力(技量)×気力(器量)で決まる。技量を高めることは、プロとして当たり前、一生懸命努力することが大切だ。ここで大事なことは、能力がゼロということとは絶対ないが、気力はゼロどころかマイナスもあり得るということだ。気力がゼロなら、技量に関係なく成果はゼロになる。倫理で人間としての器、やる気、情熱を高め、出会いを大切にしたい。人生の成否は、99.9%出会いで決まるからだ。

次回 第875回MS! 4/22(火) 6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張 (043-297-1777)

テーマ: 『後継者育成なくして事業承継はない』 講師: 新潟県南倫理法人会 阿部治雄 相談役

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく